

防災ラジオ  
(特定小電力トランシーバー機能付)

# **FC-R119D**

(総務省技術基準適合機器)

## **取扱説明書**

このたび**FIRSTCOM**をお買上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に、再度お読みください。

この製品は日本国内専用機器ですので外国では使用出来ません。

# 目次

|                |    |
|----------------|----|
| 本機の特徴          | 4  |
| ご注意            | 4  |
| 危険             | 5  |
| 警告             | 5  |
| 注意             | 5  |
| 免責事項           | 6  |
| 電波法に関する注意      | 6  |
| トランシーバーご使用上の注意 | 6  |
| 通話チャンネルについて    | 7  |
| 通話チャンネル適合表     | 7  |
| ご使用の前に         | 8  |
| 付属品を確認する       | 8  |
| ご使用前の準備        | 10 |
| 設置             | 12 |
| 本体を設置          | 12 |
| 緊急放送を受信した場合    | 12 |
| 確実に受信するために     | 13 |
| 各部の名称          | 14 |
| 外観             | 14 |
| LCD (液晶ディスプレイ) | 15 |
| 基本設定           | 16 |
| 地域の設定          | 16 |
| 同報系防災行政無線の設定   | 17 |
| NHK-FM局の設定     | 17 |
| 時刻の設定          | 18 |

|               |    |
|---------------|----|
| 設定が終わったら      | 19 |
| 使いこなし         | 20 |
| FMラジオとして使う    | 21 |
| トランシーバーとして使う  | 22 |
| 送信のしかた        | 23 |
| チャンネルを選択      | 23 |
| チャンネルスキャン機能   | 23 |
| グループモードで通話する  | 23 |
| スケルチの設定       | 24 |
| モニター機能        | 24 |
| その他の便利な機能     | 25 |
| 非常灯として使う      | 25 |
| 非常用アラームとして使う  | 25 |
| 自動的に電源を切る     | 26 |
| キーロック         | 27 |
| 操作音を消す        | 27 |
| アルカリ電池を使用するとき | 27 |
| バッテリーセーブ機能    | 28 |
| 電池残量警告        | 28 |
| 設定を工場出荷状態に戻す  | 29 |
| 故障かなと思ったら     | 29 |
| 症状による確認項目     | 29 |
| おもな仕様         | 30 |
| 一般規格          | 30 |
| 保証規定          | 31 |
| 保証書           | 32 |

## 本機の特徴

本機は同報系防災行政無線(アナログ放送)の受信、NHK-FMラジオ放送の緊急警報放送(第1種、第2種)および緊急地震速報の常時監視機能をもつ防災無線受信機です。これら災害情報のいずれかの警報を検出した場合、その緊急放送の受信を開始します。

また、小エリアでの無線連絡を可能とする小電力トランシーバー機能を内蔵しています。

- 同報系防災行政無線の常時監視
- 緊急地震速報、緊急津波速報、緊急警報放送対応
- 緊急速報、警報信号の受信をLEDと音で知らせます
- 内蔵バッテリーにより停電時にも受信可能
- 電源は3電源対応(ACアダプタ、カー電源、バッテリー)
- LEDライトを搭載しており、緊急時に非常灯としても使用可能
- 非常用アラーム(サイレン)搭載
- FMラジオ機能
- 特定小電力トランシーバー機能(20ch 単信)
- 時計(自動時刻合わせ対応)

## ご注意

### 表示マークについて

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。ご使用にあたり次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。



### 危険

人体が死亡もしくは重症を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。



### 警告

人体が死亡もしくは重症を負いかねないことが生じることを想定される内容。



### 注意

人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

## ⚠ 危険

- 本機の使用にあたり、当社オプションバッテリーパックまたは、単3型アルカリ電池以外は、使用しないでください。発火、発熱、破損の原因になります。
- 当社オプションの充電器以外での充電は行わないでください。発火、発熱破損の原因になります。
- 充電は5℃～40℃の範囲で行ってください。
- 火中に投入、分解、改造はしないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。

## ⚠ 警告

- トランシーバーは以下の状況ではご使用になれません。  
運転中、医療機器、電子機器の近く、航空機、空港、電車の中、など。
- ごく近くに人がいる場合トランシーバーでの送信はお控えください。
- 充電は、AV100V以外では行わないでください。
- 濡れた手でACアダプターに触れたり、電源コードに触れたりしないでください。感電の恐れがあります。
- 直射日光を避け、風通しの良い状態でご使用ください。
- 湿度の高い環境でのご使用はおやめください。
- 機器を雨水などにさらされないようご注意ください。
- 落下などにより破損したり正しく動作していないときはご使用をお控えください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただいた販売店または弊社までご連絡ください。

## ⚠ 注意

- 緊急放送、同報無線を受信した場合、身の安全を確保し行動してください。
- 地震速報は震源地からの距離によっては、揺れが発生してから放送される場合があります。
- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどの電気機器の近くで運用しないでください。
- 車内のダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないでください。
- アンテナは先端が細くなっています。誤って目にさしたりしないよう注意してご使用ください。



- 長時間使用しないときは、スタンドから抜いて、電池やバッテリーパックを外して保管してください。
- 本機の汚れが酷い時は、水で薄めた中性洗剤を染みこませた柔らかい布で軽く拭きとってください。シンナーやペンジンなどの薬品はご使用になれません。
- 本機裏面に貼付してある「技術基準適合証明ラベル」を剥がさないでください。ラベルが貼られていない場合トランシーバーとしてご使用になれません。
- デスクトップチャージャーに立てかけて運用する場合、乾電池はご使用になれません。専用のバッテリーパックをご使用ください。

## 免責事項

- 本機は同報系防災行政無線、緊急地震速報、緊急警報放送を受信してそれを知らせるものであり、地震や災害の被害等を回避、軽減するものではありません。
- 本機の不具合や故障、または誤った設置や操作等によって万が一、同報系防災行政無線・緊急地震速報・緊急警報放送の受信や警告機能が動作できなくなった場合、トランシーバーの送受信が正常にできなくなった場合、地震等の災害などにより生じた被害や損害に対して保証するものではありません。

## 電波法に関する注意

\* 下記内容は電波法により禁止されていますのでご注意ください

- 本機裏面の技術適合証明ラベルをはがしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を傍受し、これを人に漏らす行為
- 航空機など使用を認められていない場所での使用

上記内容を理解の上、正しくご使用ください。

## トランシーバーご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch機、11ch機、20ch機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーでグループ機能のないトランシーバーにおいては、本機のグループモードをOFFにしてご使用ください
- 通話できる距離は、環境によって大きく変わります。通話可能距離の目安としては、見晴らしの良い郊外で1～2km、市街地においては100～200m程度です。特に市街地においては建物などの障害物により通話距離が大きく左右します。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や、水がかかるような場所で使用する場合、本体が濡れないよう注意してご使用ください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯、その他電子・電気機器のそばでは電波障害を与えたり受けたりすることがありますので、電子・電気機器から離れてご使用ください。

## 通話チャンネルについて

すでに本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通信チャンネルを合わせることで本機と交信することが可能です。

## 通話チャンネル適合表

| FC-R119D | 11ch. 機 | 9ch. 機 | 他表示タイプ 20ch. 機 |
|----------|---------|--------|----------------|
| ch. 1    | ch. 1   |        | ch. 1          |
| ch. 2    | ch. 2   |        | ch. 2          |
| ch. 3    | ch. 3   |        | ch. 3          |
| ch. 4    | ch. 4   |        | ch. 4          |
| ch. 5    | ch. 5   |        | ch. 5          |
| ch. 6    | ch. 6   |        | ch. 6          |
| ch. 7    | ch. 7   |        | ch. 7          |
| ch. 8    | ch. 8   |        | ch. 8          |
| ch. 9    | ch. 9   |        | ch. 9          |
| ch. 10   | ch. 10  |        | ch. 10         |
| ch. 11   | ch. 11  |        | ch. 11         |
| ch. 12   |         | ch. 1  | ch. h1         |
| ch. 13   |         | ch. 2  | ch. h2         |
| ch. 14   |         | ch. 3  | ch. h3         |
| ch. 15   |         | ch. 4  | ch. h4         |
| ch. 16   |         | ch. 5  | ch. h5         |
| ch. 17   |         | ch. 6  | ch. h6         |
| ch. 18   |         | ch. 7  | ch. h7         |
| ch. 19   |         | ch. 8  | ch. h8         |
| ch. 20   |         | ch. 9  | ch. h9         |

## ご使用前に

### 付属品を確認する



#### <付属品>

- 充電器
- ACアダプタ
- ニッケル水素充電電池 (FBP-2)
- ベルトクリップ
- DC IN 変換ケーブル
- 取扱説明書

#### <オプション>

- FM/同報系行政防災無線用外部  
アンテナ
- カー電源コード

使用時間のめやす(携帯運用時)

電池パックまたは乾電池での運用の場合、使用時間は異なります。

| 種類     | 使用時間  |
|--------|-------|
| アルカリ電池 | 約15時間 |
| FBP-2  | 約10時間 |

(注):

- バッテリーセーブ機能を有効にしたり同報系防災行政無線の監視を行わない場合、運用時間は変わります。
- トランシーバーの場合、使用状態:送信6秒、受信6秒、待受48秒を繰り返した時の参考値です。
- アルカリ電池は製造メーカーや製造年月日により使用可能時間が異なることがあります。
- 充電式電池は満充電した状態です。

\* 市販の単3型充電電池はご使用にならないでください。

\* 充電器に立てて運用する場合、乾電池はご使用になれません。

\* 不要になった電池は廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。  
リサイクルにご協力お願いいたします。

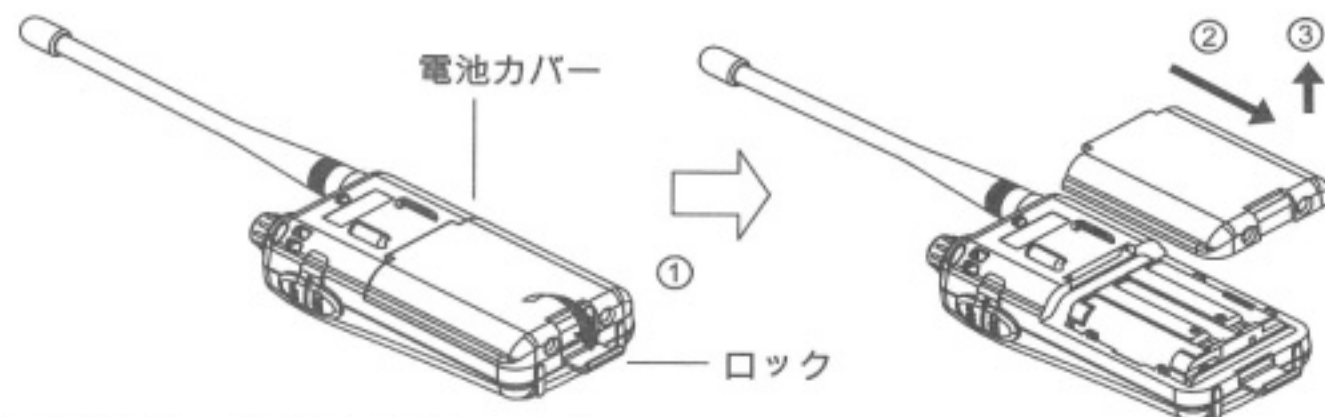
\* エッケル水素電池 (FBP-2) は消耗品です。

## ご使用前の準備

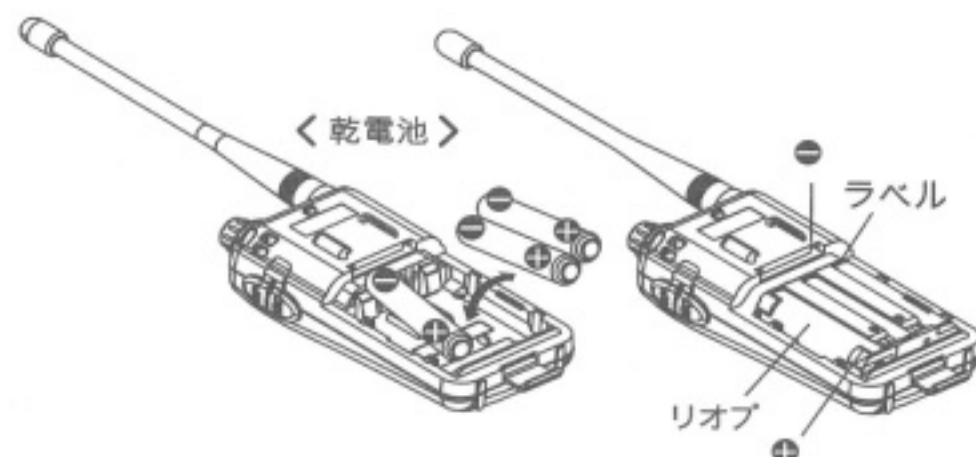
### ■電池の入れ方

電池カバーを空ける前に、ベルトクリップを外します。

1. ロックを下方へ外し、電池カバーを開けます。



2. 電池は+側から先に入れます。

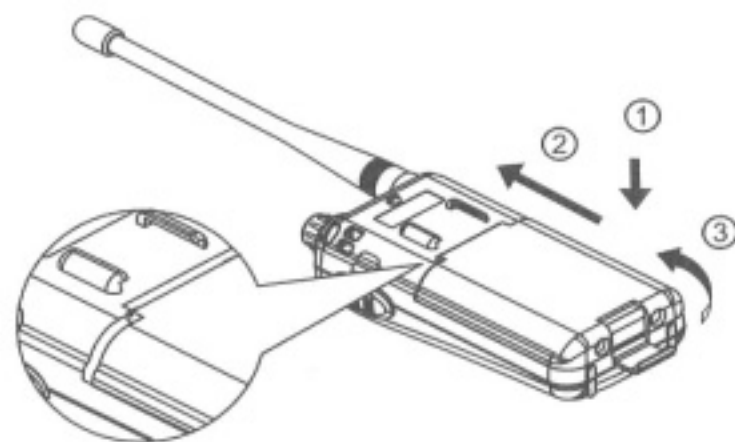


充電式のバッテリーパックの場合も+側から先に入れます。  
バッテリーパックは、ラベルの+-の極性表示を電池ケースの+表示に合わせて、+側から入れます。

電池ケースの+-の表示に従って、単3乾電池3本を+側から入れます。

3. 電池カバーを閉めます。

電池カバーを閉め、ロックをかけます。



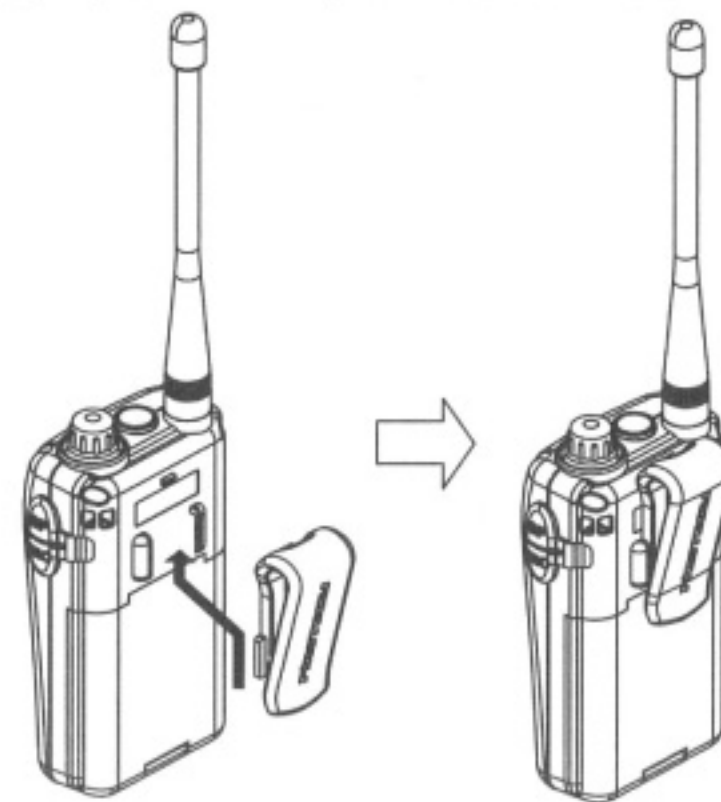
### ■アンテナの取り扱い方

使用するときは、必ずアンテナを垂直に立ててご使用ください。  
90度に曲げたり、U字型に折り返したりしないでください。  
垂直に立てない場合、通達距離が短くなり、本体電子回路にも悪影響が出ます。



### ■ベルトクリップの取付け方

ベルトクリップを、下から上へ、はめ込みます。



## 設置

### ■ ACアダプタと充電器を接続

付属のACアダプタのコネクタを付属の充電器背面にある接続端子に接続してください。

(注): 本体に付属しているACアダプタ以外は使用しないでください。故障の原因となります。

### ■ ACアダプタを電源に接続

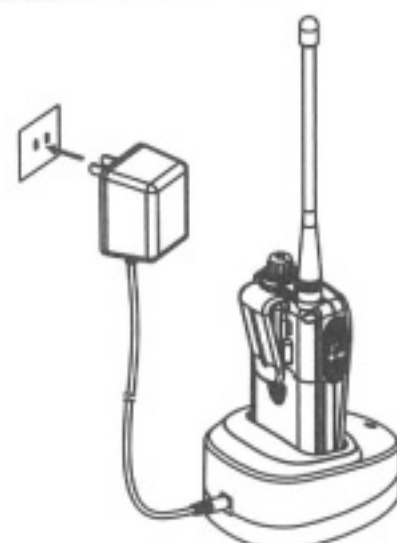
ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに接続します。

(注): 家庭用電源は100V ACをご使用ください。

## 本体を設置

本体をスタンドに立てます。

- 本体をスタンドに立てると自動的に充電が開始されます。
- 充電中は赤いランプが点灯し、充電が完了すると緑が点灯します。



(注):

- ご家庭で使用する場合、本体を必ず専用充電器に立ててご使用ください。
- 長時間使用しないときは、内蔵しているバッテリーを外して保管してください。
- バッテリーを内蔵したまま長期間放置すると、バッテリーの液漏れなどにより故障の原因となることがあります。

## 緊急放送を受信した場合

本機が同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報などの緊急放送を受信した場合、白色LEDが点滅を開始すると共に、受信した緊急放送は最大音量で受信中の音声から出力されます。

ヒント!

同報系防災行政無線を受信した時は放送がなくなるまで最大音量で受信が継続します。ただし、放送受信中にキーなどを操作すると音量の調整が可能になります。緊急警報放送、緊急地震速報を受信したときは、3分間最大音量で受信が継続した後通常音声に戻ります。3分以内にキーなどを操作すると、音量の調整が可能になり、NHK-FM放送を継続して聞くことができます。

## 確実に受信するために

本機の設置場所は、同報系防災行政無線やFMラジオが良好に受信できる場所に設置してください。

ご家庭内に設置される場合、オプションの外部アンテナを本体に接続し、電波が良好に受信できる場所にアンテナを設置することをお勧めします。



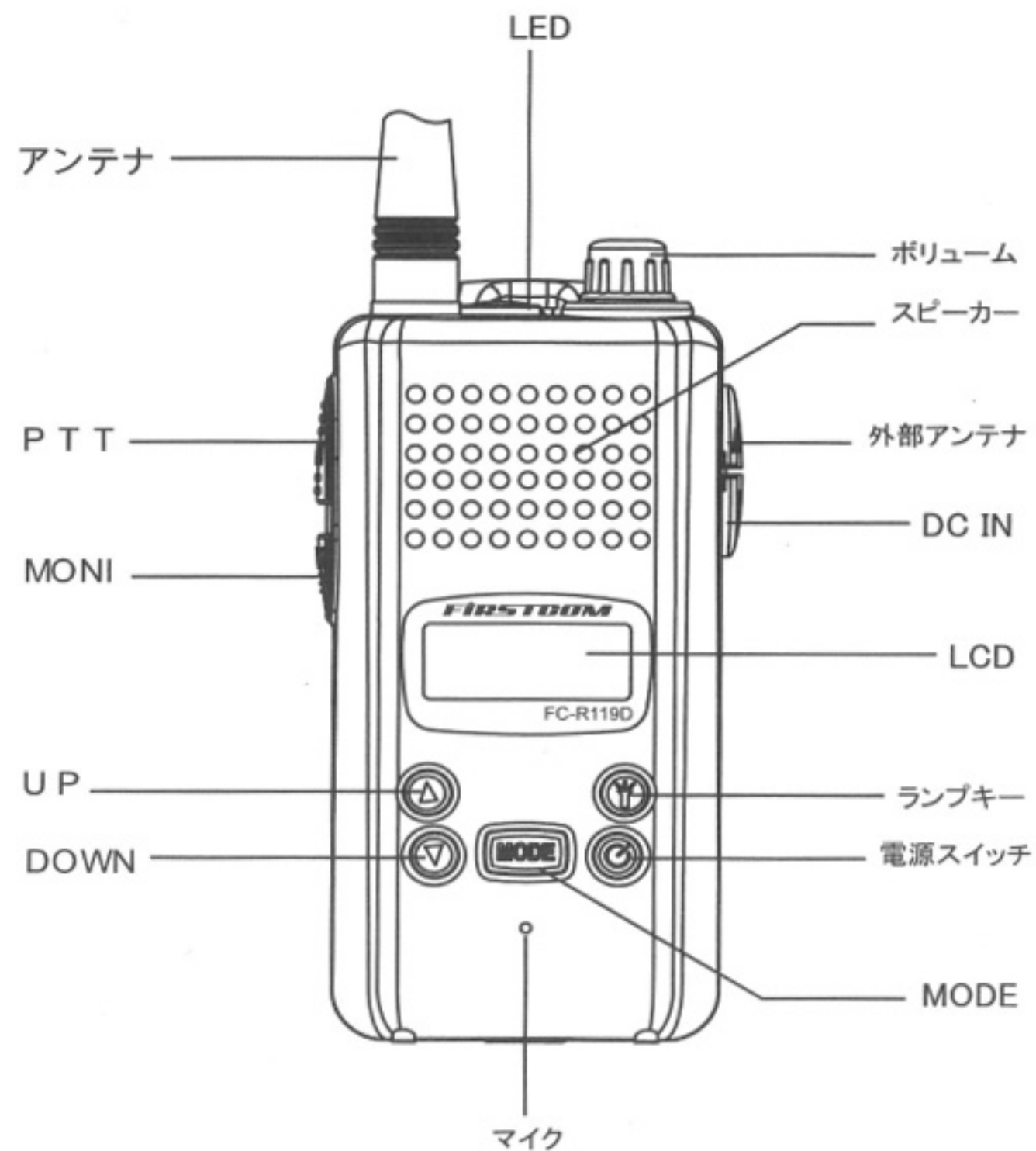
(注):

- 近くに電気機器や電子機器の配線などがある場合、電磁波の干渉により良好に受信できない場合があります。



## 各部の名称

### 外観



## LCD (液晶ディスプレイ)



1. NHK-FM設定時及び緊急警報放送受信時
2. 同報系防災行政無線設定及び受信時
3. 緊急地震速報受信時
4. NHK-FM局地域選択時
5. NHK-FM局信号強度表示
6. FMラジオモード
7. トランシーバーモード
8. トランシーバー受信時
9. トランシーバー送信時
10. トランシーバーモニター時
11. キーロック機能表示
12. 電池残量表示
13. オートパワーオフ表示
14. 周波数、チャンネル、時計等



## 基本設定

同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報を正しく受信するために、予め同報系防災行政無線とNHK-FM局の受信周波数を設定する必要があります。基本設定では同報系防災行政無線の周波数、NHK-FM局、時刻の設定を行います。

### 地域の設定

地域の設定を行うと、お住まいの都道府県のNHK-FM局をメモリーから選択できます。

- Modeキーを押しながら電源スイッチを押して、本体の電源を入れます。
- “地域”が点滅している間にUP/DOWNキーで地域を選択をします。



- Modeキーを押して確定します。

地域一覧

| 番号 | 地域  | 番号 | 地域   | 番号 | 地域   | 番号 | 地域  | 番号 | 地域   |
|----|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|
| 01 | 北海道 | 11 | 埼玉県  | 21 | 岐阜県  | 31 | 鳥取県 | 41 | 佐賀県  |
| 02 | 青森県 | 12 | 千葉県  | 22 | 静岡県  | 32 | 島根県 | 42 | 長崎県  |
| 03 | 岩手県 | 13 | 東京都  | 23 | 愛知県  | 33 | 岡山県 | 43 | 熊本県  |
| 04 | 宮城県 | 14 | 神奈川県 | 24 | 三重県  | 34 | 広島県 | 44 | 大分県  |
| 05 | 秋田県 | 15 | 新潟県  | 25 | 滋賀県  | 35 | 山口県 | 45 | 宮崎県  |
| 06 | 山形県 | 16 | 富山県  | 26 | 京都府  | 36 | 徳島県 | 46 | 鹿児島県 |
| 07 | 福島県 | 17 | 石川県  | 27 | 大阪府  | 37 | 香川県 | 47 | 沖縄県  |
| 08 | 茨城県 | 18 | 福井県  | 28 | 兵庫県  | 38 | 愛媛県 |    |      |
| 09 | 栃木県 | 19 | 山梨県  | 29 | 奈良県  | 39 | 高知県 |    |      |
| 10 | 群馬県 | 20 | 長野県  | 30 | 和歌山県 | 40 | 福岡県 |    |      |

ヒント！

近隣都道府県のNHK-FM局が明瞭に受信できる場合、そのNHK-FM放送局のある都道府県を選択するか、地域の設定はOFFを選択してください。地域をOFFに設定するとNHK-FM局の周波数が直接選択可能になります。

## 同報系防災行政無線の設定

お住まいの地域で使用する同報系防災行政無線の周波数は、お近くの市町村役所等に問い合わせ、予めご確認ください。

|    |           |    |           |    |           |    |           |    |           |
|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|
| 1  | 68.205MHz | 11 | 68.580MHz | 21 | 68.880MHz | 31 | 69.255MHz | 41 | 69.735MHz |
| 2  | 68.220MHz | 12 | 68.595MHz | 22 | 68.895MHz | 32 | 69.405MHz | 42 | 69.750MHz |
| 3  | 68.280MHz | 13 | 68.610MHz | 23 | 69.090MHz | 33 | 69.420MHz | 43 | 69.765MHz |
| 4  | 68.295MHz | 14 | 68.680MHz | 24 | 69.105MHz | 34 | 69.435MHz |    |           |
| 5  | 68.415MHz | 15 | 68.695MHz | 25 | 69.120MHz | 35 | 69.450MHz |    |           |
| 6  | 68.505MHz | 16 | 68.805MHz | 26 | 69.135MHz | 36 | 69.465MHz |    |           |
| 7  | 68.520MHz | 17 | 68.820MHz | 27 | 69.150MHz | 37 | 69.480MHz |    |           |
| 8  | 68.535MHz | 18 | 68.835MHz | 28 | 69.165MHz | 38 | 69.495MHz |    |           |
| 9  | 68.550MHz | 19 | 68.850MHz | 29 | 69.180MHz | 39 | 69.705MHz |    |           |
| 10 | 68.565MHz | 20 | 68.865MHz | 30 | 69.195MHz | 40 | 69.720MHz |    |           |

地域の設定が終了後、同報系防災行政無線の周波数設定をします。

- “防災”が点滅している間にUP/DOWNキーで周波数を選択をします。



- お住まいの近くにアナログ同報系防災行政無線がない場合、または本機で対応している周波数一覧以外の周波数が使用されている場合、“OF”を選択してください。
- Modeキーを押して周波数の確定をします。

### NHK-FM局の設定

- “警報”が点滅中にUP/DOWNキーを押してNHK-FM局を選択をします。  
(設定した地域で使用されているNHK-FM局が選択できます)



- Modeキーを押してNHK-FM局の確定をします。

(注):

- 本体のアンテナで十分に受信できない場合、オプションの外部アンテナをご使用ください。  
(お手持ちのイヤホンなどを外部アンテナ端子に接続しても明瞭に受信できることがあります)
- 地域によって選択できる周波数が異なります。
- 隣接地域のNHK-FMが良好に受信できる場合、再度地域の設定から行なってください。

- 良好に受信できるNHK-FM局の周波数が予めわかっている場合、地域設定をOFにすると周波数を手動で合わせることができます

## 時刻の設定

- 時間が点滅中にUP/DOWNキーを押して時間を設定し、Modeキーを押します。



- 分が点滅中にUP/DOWNキーを押して分を設定し、Modeキーを押します。



### ヒント！

キーを長く押し続けると時間や分が早く変化します！

- 一度正しく時刻設定した後NHK-FM局が良好に受信出来れば、以降の時刻設定は自動的におこなわれます。
- 時刻の自動設定は、時刻の誤差が±3分以内の場合です。これを超える場合、時刻を再度設定しなおしてください。

## 設定が終わったら

本機は電源の状態にかかわらず、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視を開始します。

これら緊急放送の監視中、電波が常に良好に受信していることをご確認ください。



電波の受信状態が悪い場合、信号レベルメーターが点滅をしますので、設置場所を変更するか外部アンテナを接続して電波を良好に受信できるようにしてください。



電波が不十分な場合、信号レベルメーターが点滅します。

## 使いこなし

本機は電源が入っていない時、緊急放送を受信するための監視モードで動作しています。

電源が入ると、FMラジオまたはトランシーバーとして使用することができます。

電源オフ時：時計表示（監視モード）



電源スイッチ2秒押し

電源オン時



## FMラジオとして使う

### 1. 電源を入れる

電源スイッチを2秒以上押し続けると本体の電源が入ります。



### 2. モードをFMラジオモードにする

FMラジオモードはFMラジオの周波数が表示され、FMアイコンが点灯します。

FMラジオモードになっていないときはMODEキーを2秒以上押すとFMラジオモードに切り替わります。



### 3. 周波数を合わせる

UP/DOWNキーを押して聞きたいFMラジオ局に合わせる。

UPまたはDOWNキーを長押しすると受信できるFMラジオ局をサーチします。

（注）：

- FMラジオを受信中でも、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視していますので、これらの緊急放送を受信した場合、緊急放送に自動的に切り替わります。

## トランシーバーとして使う

1. 電源を入れる  
電源スイッチを2秒以上押し続けると本体の電源が入ります。



2. トランシーバーモードにする  
トランシーバーモードのときはチャンネルとグループが表示され、トランシーバーアイコンが点灯します。

トランシーバーモードになっていないときは、MODEキーを2秒以上押し続けるとトランシーバーモードに切り替わります。



3. UP/DOWNキーを押してチャンネルを合わせる。
4. PTTを押して交信を開始。

(注):

- トランシーバーを使用中(送受信)でも、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視していますので、これらの緊急放送を受信した場合、通話が終了次第緊急放送に自動的に切り替わります。

## 送信のしかた

1. PTTスイッチを押すと送信状態になります。  
マイクから5cm程度離して通話してください。
2. PTTスイッチから手を離すと受信待受状態になります。
3. 信号受信時、液晶ディスプレイに「受」が表示されます。「受」が点灯中はPTTスイッチを押しても送信禁止音が鳴り、送信できません。(注)



(注):

- 通話状態になっているときはこの限りではありません。

## チャンネルを選択

UP/DOWNキーを押して1～20chのうち希望のチャンネルを選択します。チャンネルは通話したい相手と同じチャンネルにあわせてください。PTTスイッチを1度押すと表示しているチャンネルが通話チャンネルとして決定されます。

## チャンネルスキャン機能

1. UPキーまたはDOWNキーを1秒以上押し続けるとスキャン機能が開始され、信号を受信中のチャンネルに自動的に止まります。
2. 受信信号がなくなると再度スキャンを開始します。
3. PTTを押すと表示しているチャンネルが通話チャンネルになり、スキャンが停止します。

## グループモードで通話する

同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、他のグループの通話が聞こえてしまいますが、グループモードを設定することにより、同じグループのみと通話を行うことができます。

1. MODEキーを押してグループ番号表示を点滅させます。
2. UP/DOWNキーで1～38の中から希望のグループを選択して下さい。OFを選択するとグループモードを使用しません。





3. PTTスイッチを押すと表示しているグループが決定されます。

(注):

- グループ番号が異なる信号を受信した時、音声は聞こえませんが受信状態となります。この時にPTTを押しても送信禁止音が鳴り送信ができません。

## スケルチの設定

スケルチは受信時に信号が無いときの「ザー」という音を消す機能です。

1. MODEキーを押してSLを表示させます。
2. UP/DOWNキーで00~05の中からスケルチの値を設定します。近距離で通話する場合値を大きめに設定しておく、強い信号でスケルチが開くようになりますので、ノイズの影響を受けにくくなります。また、00に設定するとスケルチは常にオフに設定されます。



3. PTTスイッチを押すと表示しているスケルチが決定されます。

## モニター機能

通話中に受信信号が弱く音声途切れ、聞きづらい時、モニター機能を使用すると弱信号での通信でも音声途切れなくなります。

モニター機能を解除する場合、再度モニターキーを押してください。



## その他の便利な機能

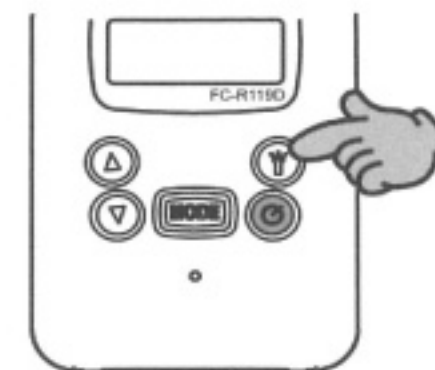
### 非常灯として使う

本体上部に搭載している高輝度LEDを使用して、非常時の一時的なライトとして、または非常用点滅ライトとして使用することができます。

非常灯LEDは本体電源のON/OFFにかかわらず操作が行えます。

1. 非常用点滅ライト

ランプキーを1秒間押し続けると、本体上部のLEDが点滅を開始します。



2. 非常用LEDライト

LEDが点滅状態(非常用点滅ライトがON)の時にランプキーを押すと、LEDが点灯に変わります。

3. 消灯

LEDが点灯状態の時にさらにランプキーを押すと、LEDが消灯します。

### 非常用アラームとして使う

非常用の大音量アラームで周りに非常事態であることを知らせることができます。

大音量アラームは本体電源のON/OFFにかかわらず操作が行えます。

1. 非常用アラーム開始

ランプキーを3秒以上押し続けるとスピーカーから大音量のアラーム音が鳴り出すと同時に、LEDが点滅を開始します。



2. 非常用アラームを止める

アラームが鳴っている時に、ランプキーを押すとアラーム音が鳴り止み、LEDが点灯します。

### 3. 消灯

LEDが点灯状態の時にさらにランプキーを押すと、LEDが消灯します。

非常用アラームを使用しない場合、機能が無効にすることができます。  
本機がトランシーバーモード、またはFMラジオモードになっているときに、MODEキーを押して“AL”を表示させ、UP/DOWNキーでOFFを選択してPTTキーを押すと機能が無効にすることができます。



### 自動的に電源を切る

設定した時間になると自動的に電源が切れ時計表示になります。  
電源の切り忘れを防止する機能です。

1. MODEキーを押してAPを点灯させます。
2. UP/DOWNキーで時間を設定します。



3. PTTキーを押すと確定されます。

(注):

APOがOF以外に設定された場合、LCDにAPOアイコンが点灯します。APOで電源が切れた後、本機は監視モードへ自動的に移行します。

### キーロック

誤操作によって設定が変更されないように設定します。

1. MONIキーを2秒以上押し続けると、キーロック表示が点灯し、PTTスイッチ、MODEキー以外の操作が無効になります。



2. キーロック状態で再度MONIキーを2秒以上押し続けると、キーロック表示は消えてキーロックが解除されます。

### 操作音を消す

1. MODEキーを押して“bP”を表示します。
2. “bP.of”を選択してPTTを押します。



### アルカリ電池を使用するとき

付属の充電電池以外に緊急用にアルカリ電池も使用できます。  
アルカリ電池を使用するときに残量表示をより正確にするために、電池の種類を選択して下さい。

1. MODEキーを押して“bt”を表示します。
2. “bt. A”を選択してPTTを押します。



(注):

- 充電器スタンドに立てて使用するときは、必ず付属の充電電池をご使用ください。アルカリ電池のまま使用すると、電池容量がなくなると本体が使用できなくなります。
- 充電電池を使用するときは必ず設定を“bt. n”にしてください。

## バッテリーセーブ機能

電池運用の場合、運用時間を伸ばすためにバッテリーセーブ機能を設定できます。

1. MODEキーを押して“bS”を表示します。
2. “bS.on”を選択しPTTを押します。

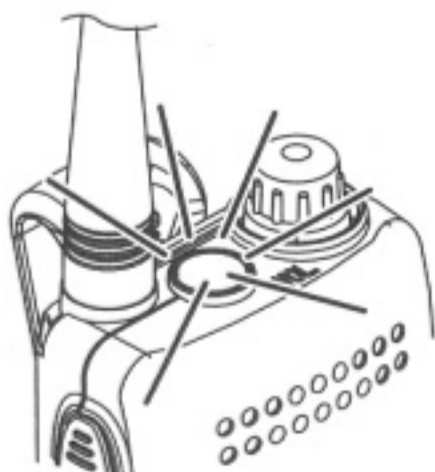


(注):

- バッテリーセーブ機能をONにすると、受信の立ち上がりが遅くなる事があります。

## 電池残量警告

電池(アルカリ電池または充電電池)で運用時、電池残量が低下すると残量警告のピープが一定時間毎に鳴り、LEDが点滅を開始します。



電池残量警告が鳴り出しだしたら、アルカリ電池の場合新しい電池にお取り替え、充電電池の場合は速やかに充電をしてください。

## 設定を工場出荷状態に戻す

設定されている内容はすべて初期状態に戻ります。

1. 一旦電源を切る。
2. 電源を押しながらPTTを押して電源を入れる
3. UP/DOWNキーでonを選択しMODEキーを押す



(注)

リセットを実行した場合、災害同報無線、緊急警報放送、緊急地震速報を確実に受信するために、地域設定、NHK-FM局の設定を確認してください。

## 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、下記の「症状による項目確認」を点検してください。それでも回復しない場合や動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は本体をリセットしてみてください。

### 症状による確認項目

| 症状                          | 原因                                                           | 処置                                                                    |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない。                    | a. 電池の入れ方が違う<br>b. 電池が消耗している。                                | a. +-を正しく入れる。<br>b. 新しい電池に交換する。                                       |
| 受信できない。<br>音量つまみを回しても音がでない。 | a. PTTが押されて送信中になっている。<br>b. グループ番号が違う。                       | a. PTTを離す。<br>b. グループ番号を相手と同じにする。                                     |
| 相手と通話できない。                  | a. チャンネルかグループ番号が違う。<br>b. 相手との距離が離れすぎている。<br>c. 通話モードが違っている。 | a. チャンネル番号、グループ番号を相手と同じに合わせる。<br>b. 通話の出来る距離まで近づく。<br>c. 相手と同じモードにする。 |
| どのキーを押しても表示が変化しない。          | キーロックになっている。                                                 | キーロックを解除する。                                                           |
| 表示がすぐ消える                    | 電池が消耗している。                                                   | 新しい電池に交換する。                                                           |



## おもな仕様

### 一般規格

#### 周波数帯

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 防災同報無線  | 68.205 ~ 69.795 MHz (15 kHz)    |
| FMラジオ   | 76.0 ~ 90MHz (100kHz Step)      |
| 小電力無線電話 | 422.050 ~ 422.300MHz (12.5 kHz) |

#### 防災信号検出方式

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 防災同報無線 | 指定周波数のキャリア検出            |
| 緊急地震速報 | NHK地震速報チャイム音検出          |
| 緊急警報放送 | ARIB標準規格BTA R-001 FSK検出 |

#### 電源電圧

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| AC アダプター | 入力: AC 100V、出力: DC 5V |
| DC IN運用時 | DC 5V                 |
| 本体電池運用   | DC 3.6V ~ 4.5V        |

#### 温度範囲

|  |               |
|--|---------------|
|  | -10°C ~ +50°C |
|--|---------------|

#### 寸法 (突起物含まず)

|  |                              |
|--|------------------------------|
|  | 幅54.9 × 高さ110.3 × 奥行き26.2 mm |
|--|------------------------------|

#### 消費電流 (監視モード)

|           |        |
|-----------|--------|
| 同報系防災行政無線 | 約35mA  |
| FMラジオ     | 約30mA  |
| オーディオ出力   | 約100mW |

#### トランシーバーモード

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 送受信周波数    | 422.050 - 422.300 MHz (単信 20ch) |
| チャンネルステップ | 12.5 kHz                        |
| 電波型式      | F3E                             |
| 周波数安定度    | ± 2.5 ppm                       |
| 送信出力      | 10 mW                           |
| 受信感度      | -12 dB $\mu$ 以下 (12 dB SINAD)   |

#### 消費電流

|         |         |
|---------|---------|
| 送信時     | 約70 mA  |
| 受信定格出力時 | 約180 mA |
| 受信待ち受け時 | 約40 mA  |

## 保証規定

### 保証書

- 本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」などを記入、ご確認の上販売店より受け取ってください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- 修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」(P28)を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、すべてのデータが削除される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社で、修理させていただきます。その際は必ず保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理いたします。お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

### 無料保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、添付ラベル等の注意書に従って正常に使用し故障した場合、無料修理させていただきます。
  2. 無料修理を受ける場合、お買い求めの販売店または、弊社まで保証書を添えてご依頼ください。
  3. ご転居の場合は、事前にご相談ください。
  4. ご贈答品等で保証書に記載されている販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社までご相談ください。
  5. 次の場合には保証期間でも有料修理になります。
    - (イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様名、販売店名、お買い上げ年月日の記入が無い、もしくは字句を書き換えた場合。
    - (ロ) 使用上の誤りや不当な修理、調整、改造による故障およびそれが原因で生じた故障および損傷。
    - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
    - (ニ) 落下、冠水などによる故障および損傷。
    - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障および障害。
    - (ヘ) 製造番号の改変もしくは取り外した製品。
    - (ト) 消耗部品 (充電機、バッテリー等)
- 保証は、日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)

※この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

株式会社エフ・アール・シー  
〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8  
お客様相談室 042-793-7740



# FIRSTCOM 保証書 持込修理

- お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。
- 本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印の無い物は無効となります。必ず記入事項の確認を行ってください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本製品は持込修理とさせていただきます。

|                          |                 |   |   |
|--------------------------|-----------------|---|---|
| 型 番                      | FC-R119D        |   |   |
| 型番                       | S/N:FCR12001425 |   |   |
| 保証期間                     | お買い上げ日より 1年間    |   |   |
|                          | お買い上げ日          | 月 | 日 |
| お客様                      | ご住所             |   |   |
|                          | ご氏名             | 様 |   |
| 販売店                      | TEL             |   |   |
|                          | 印               |   |   |
| 株式会社 エフ・エス・エル            |                 |   |   |
| 〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8 |                 |   |   |
| お客様相談室 042-793-7746      |                 |   |   |